

# くすりのしおり

注射剤

2023年11月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力がが必要です。

## 製品名: アクチット輸液 (200mL バッグ)

**主成分:** マルトース水和物 (Maltose hydrate)  
塩化ナトリウム (Sodium chloride)  
塩化カリウム (Potassium chloride)  
酢酸ナトリウム水和物 (Sodium acetate hydrate)  
リン酸二水素カリウム (Potassium phosphate, monobasic)  
塩化マグネシウム (Magnesium chloride)

**剤形:** 注射剤

**シート記載など:**



## この薬の作用と効果について

酢酸維持液に分類される輸液であり、複数の電解質と糖質としてマルトース水和物を含有し、水分、電解質およびエネルギーの補給効果を示します。

通常、経口摂取だけでは不足している水分・電解質・エネルギーの補給に用いられます。

## 次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。血液中のカリウム濃度が高い（乏尿、アジソン病、重症熱傷、高窒素血症）と言われている。血液中のリン濃度が高く、カルシウム濃度が低い（副甲状腺機能低下症）と言われている。血液中のマグネシウム濃度が高い（甲状腺機能低下症）と言われている。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、静脈内に点滴します。
- ・具体的な使用期間については、医師にお聞きください。

## 生活上の注意

### この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、かゆみ、末梢のむくみなどが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・息苦しい、頻脈、蕁麻疹 [アナフィラキシーショック]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

# くすりのしおり

注射剤

2023年11月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力がが必要です。

## 製品名: アクチット輸液 (500mL バッグ)

**主成分:** マルトース水和物 (Maltose hydrate)  
塩化ナトリウム (Sodium chloride)  
塩化カリウム (Potassium chloride)  
酢酸ナトリウム水和物 (Sodium acetate hydrate)  
リン酸二水素カリウム (Potassium phosphate, monobasic)  
塩化マグネシウム (Magnesium chloride)

**剤形:** 注射剤

**シート記載など:**



## この薬の作用と効果について

酢酸維持液に分類される輸液であり、複数の電解質と糖質としてマルトース水和物を含有し、水分、電解質およびエネルギーの補給効果を示します。

通常、経口摂取だけでは不足している水分・電解質・エネルギーの補給に用いられます。

## 次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。血液中のカリウム濃度が高い（乏尿、アジソン病、重症熱傷、高窒素血症）と言われている。血液中のリン濃度が高く、カルシウム濃度が低い（副甲状腺機能低下症）と言われている。血液中のマグネシウム濃度が高い（甲状腺機能低下症）と言われている。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、静脈内に点滴します。
- ・具体的な使用期間については、医師にお聞きください。

## 生活上の注意

### この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、発疹、かゆみ、末梢のむくみなどが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・息苦しい、頻脈、蕁麻疹 [アナフィラキシーショック]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。